

6-6 近畿支部

1. 近畿支部の現況

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 平成 27 年度末会員数 | 108 社 |
| (2) 平成 28 年度入会会員数 | 2 社 |
| (3) 平成 28 年度退会会員数 | 0 社 |
| (4) 平成 28 年度末会員数 | 110 社 |

2. 平成 28 年度の活動実績

2-1 地域への貢献活動

- (1) 災害時協定書に基づく支援要請
兵庫県県土整備部、京都市建設局から災害協定に基づく支援要請が 3 回あり、緊急対策業務に従事した。
- (2) 大学生・高専生への建設コンサルタント PR
建設コンサルタントの魅力と社会的地位向上を図り、担い手確保に重きを置き、大学生・高専生を対象に学校訪問・キャリア支援活動を行った。
- (3) 一般市民への建設コンサルタント PR
参加者を限定しないイベントを主催、または共催、参加を行い、建設コンサルタントの役割を紹介し、認知度向上を図った。
 - ・第 49 回研究発表会
 - ・建設技術展 2016 近畿
- (4) 会誌「クリエイトきんき」第 27 号発行
建設コンサルタントの魅力や活動を広く一般に広めるため、親しみやすい内容に編集し会誌を発行した。
- (5) 発注者技術職員研修講義への講師派遣
近畿地方整備局や自治体の技術職員研修講義での講師依頼を受け、要望に応じた講師を派遣した。
- (6) 地域との意見交換会
円滑な業務の推進を図り、地域特性を踏まえた課題等について、支部管内の 2 府 5 県、2 政令指定都市と意見交換会を実施した。

2-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 講習会・講演会・研修会
 - ・資質向上研修会（年 2 回）

- ・現場作業安全管理講習
 - ・設計品質・現場技術力向上研修会
 - ・河川合同現地研修会
 - ・発注者からの情報周知
- (2) 品質向上委員会
近畿地方整備局との共同で業務における各種課題について、改善に有効な施策を検討した。
 - (3) 研究委員会活動
支部会員の技術力向上、技術者の能力向上を図るため各研究テーマを設定し、研究を行っている。平成 28 年度はインフラ維持管理研究委員会、道路研究委員会が活動した。また、道路研究委員会では「提言」を発表した。
 - (4) 近代土木遺産の現場研修 in 和歌山
建設コンサルタントの業務が社会に貢献していることを広く理解してもらうため、支部会員の家族にも参加できるように企画・実施した。

3. 平成 29 年度の活動予定

3-1 地域への貢献活動

- (1) 大学生・高専生への建設コンサルタント PR
- (2) 一般市民への建設コンサルタント PR
- (3) 会誌「クリエイトきんき」第 28 号発行
- (4) 発注者技術職員研修講義への講師派遣
- (5) 災害発生時、協定書に基づく支援要請対応
- (6) 関西のインフラ整備シンポジウムの開催

3-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 講習会・後援会・研修会
- (2) 品質向上委員会
- (3) 研究委員会活動

4. その他

- 近畿支部会員の技術力向上を図り、近畿地域における社会資本整備に貢献する。
- また主催する委員会、研修会、発表会、厚生行事等の更なる発展と充実を図る。